

ロタウイルスによる胃腸炎

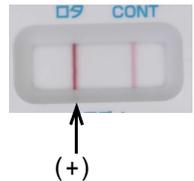
ロタウイルス性胃腸炎とは

ロタウイルスは急性胃腸炎の主要な原因ウイルスで、生後6ヶ月頃から2歳にかけての乳幼児を中心とした冬季の嘔吐下痢症(胃腸炎)の原因です。「**冬季乳児下痢症**」「**白色便性下痢症**」などと呼ばれていましたが、最近では「**感染性胃腸炎**」と呼ばれるのが一般的です。

主に経口感染でうつりますが、便や嘔吐物を介しての飛沫感染もあります。毎年春頃に流行があり(特に3月前後)、施設内における集団発生もしばしば見られます。新生児では一般に無症状か軽症であり、年長児や成人では通常は症状のない不顕性感染になるといわれていますが、迅速診断キットができるようになり年長児や成人の感染が多く見られるようになってきています。また、感染後の免疫が不完全、あるいは持続しないため何回も再感染をおこすことがあります。平成23年より**生後3か月までのお子さんにはワクチンが接種できる**ようになりました。

どんな症状

感染から発症までの潜伏期間は1~3日です。主な症状は下痢と嘔吐、発熱です。下痢の性状は通常、粘液や血液を含まない水様便で、白色からクリーム色となることが多く、回数は1日数回から10回以上となります。他のウイルスによる胃腸炎(ノロウイルス、アデノウイルスなど)と比較して重症例が多く見られます。**通常は発症後3~7日程度で治癒しますが、ウイルスはしばらくの間排出されます。**また、熱が余り高くないのにけいれんを起こすことがありますが、これは良性のけいれんなので心配いりません。迅速診断キットにより便の検査で診断が可能です。



治療および対処法

ウイルスによる腸炎ですので特別な治療法はありません。抗ウイルス薬もまだありません。一般的な下痢と嘔吐、発熱に対する対症療法と脱水に対する治療となります。一般的には乳酸菌製剤などを使用しますが、あくまでも補助的な治療であり、脱水の予防と改善が最も大切となります。

下痢が主症状で嘔吐が軽く機嫌や一般状態が悪くない場合には、消化の良い食事内容にするとともに経口的に水分や電解質の補給をします。経口的な水分電解質補給にはできれば経口補水液(大塚OS-1や和光堂アクアライトORSなど)の方が良いでしょう。下痢や嘔吐がひどい場合には、脱水になる可能性が高いので早めに病院を受診してください。

二次感染予防には、患者の便や吐物の扱いに十分注意する必要があります。処理する際には使い捨ての手袋を使用し、処理後の手洗いを徹底しましょう。

消毒には次亜塩素酸ナトリウムが効果があります。**家庭用のハイターなどの塩素系漂白剤(5%)**や**ほ乳びん消毒薬のミルトン(1%)**などを薄めて**0.05~0.5%の消毒薬を作ります**。ウイルスに汚染される可能性のある物、場所(トイレ、水洗トイレのレバー、手洗い場や流し、手すり、ドアノブ、玩具など)の消毒をしましょう。調理器具などは、85℃で1分以上加熱すれば消毒になります。

症状の見られる間は保育園などの登園は禁止とします。**治癒証明書が必要かどうかは園にご相談下さい。**